

新しい年が始まりすでに1か月が過ぎました。

皆様のご健勝でよき一年をお過ごしになられますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

12月にはまとまった降雪があり、クリスマス頃～年末年始～三連休にかけてのスキー場は概ねコンディションが整っていたのですが、年が明けてから降雪はなく気温も高めということで、このままでは厳しいことになりそう・・・というところで、大寒と共に史上最強クラスの寒波襲来。1/24の午後から急に、暴風雪となりました。国道通行止め情報が出たので、白馬より北に自宅のある私は急いで家路に向かったのですが、久しぶりに前の車のテールランプが見えない、道路の端もどこよ??という緊張感マックスの運転となりました。日本列島すっぽりと極寒です。管理事務所としては、みそら野別荘地内の道路除雪・各駐車スペースの除雪、退去後の水抜き点検と慌ただしい厳冬期態勢となっています。立春も寒波と共にあり。❄️❄️☁️❄️🧣❄️❄️❄️

管理費のお願い

3月1日付で、皆様のお手元に令和5年度(2023年度)管理費ご請求を申し上げますので、お手数をおかけいたしますが、夫々のご選択の方法で管理費のお支払いをお願い申し上げます。

みそら野別荘地全体の管理状況について、様々な方面からお褒めいただくことがあります。開発分譲後一貫して管理を行ってきたという継続性が、時代に翻弄されつつも一貫してここを守るという気持ちに繋がり、今へ至っており、それには、皆様方がお支払いくださる管理費があってこそ持続性が保たれてきたことを深く実感しております。白馬総合開発(株)は60期を迎えました。この60年間にみそら野別荘地にご縁を得てくださった多くの皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。とりわけ長年土地だけをご所有くださっている方々が、何十年と土地管理費をお支払い続けてくださっていることへの深謝の気持ちを紙面を借りて伝えさせていただきます。



管理形態の多様化

土地を購入すれば土地管理費、別荘を建築すれば土地建物管理費という単純明快な管理形態だけであつたものが、長年の間には、管理を必要としない通年居住者(白馬村住民)、定年後に半永住となりフル管理の別荘扱いとはいかず、かといってある程度の管理は必要な利用形態、そこへ昨今の貸別荘、貸別荘と個人使用の混合型・・・貸別荘管理会社の乱立・・・多様化の変遷に感心しているだけでなく、現状に追いつき、どのようにみそら野別荘地を守っていけばよいか、個々のニーズにお応えするためにはどうすればよいか、合理性のある形態、平等性は何なのか、みそら野別荘地がよりよくこの先へ続いていく為の大きな課題です。従業員一丸となって、より一層の現場努力をしてまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

管理費の口座引き落としへの切り替え依頼

年1回の管理費の引き落とし限定ではありますが、お振込みではなく、金融機関の口座引き落としへの切り替えをお勧めいたします。ご連絡いただければ、お申込み用紙をお送りいたします。

今の白馬

今冬に入りピーク時までとはいかないものの新型コロナ禍前の賑わいが戻ってきました。

新型コロナ感染拡大のなか、家族や友人単位で自然の中で過ごす時間を持つことを再発見された国内の方の増加を感じていましたが、今冬シーズンへ入り海外からの来訪も確実に増えており、ホテルや貸別荘の稼働率もピークの7割〜という話です。

みそら野別荘地としては、昨年夏頃より、海外在住の別荘所有の方々が、『3年ぶりです』『やっと帰ってきましたあ』・・・懐かしい笑顔の再会が幾組も続いています。

感染法上の位置づけも、5月8日には、2類から5類への移行決定。各人各所の判断要素が大きくなる予想、それぞれが気を付けながらも新型コロナ禍前の生活へ戻りゆくという所でしょうか？

この3年の間、別荘のご高齢の方々がお出かけを控えていらしたことに思ひめぐらすことがあります。

白馬もみそら野も山もお庭の樹々も主をお待ちしております。せひ久方ぶりにお出かけください。

白馬・みそら野不動産情報ほか

需要と供給のバランスがとれなくなりました。

白馬人気はありがたく嬉しい限りですが、必要な人へ手の届く価格で不動産供給ができなくなると、長いスパンで見たときに、白馬村の若手世代の空洞化が懸念されます。これについては、行政・弊社を含む白馬村不動産協議会が、知恵と実行力を出さねばなりません。下記のニセコでは現実の問題。昨秋、隙間をついてニセコへ視察に行ってきました。開発の素晴らしさ(凄さ)を見に行ったというよりは、白馬のニセコ化と言われる今、ニセコでは表に見えている物の陰で何が起きているのか、そこから何を学ぶべきか・・・という視点で。経験と知見に優れた、そして苦勞しながらもニセコでの開発に伴う問題を皆(地元民・地元観光協会・海外の開発業者・従業員等)で乗り越えるべく力を尽くしている方々と繋がりを持てたことが一番の収穫でした。早速、白馬村の担当課や丸山村長にもその方たちを繋ぐことができました。

余談ですが、このニセコ視察、タイトなスケジュールで熱い方たちの話を傾聴するあまり、新千歳空港で念願のラーメンを食べる間もなく、FDAの松本空港行✈に飛び乗ることとなり・・・

余談の余談ですが、飛行機から我が家確認(笑)勿論、三角形の森に見えるみそら野別荘地も👍



イベント復活予告

コロナ禍で中断していたみそら野管理事務所主催のイベント企画!! 復活いたします。

ガーデニング講習会、自然科学系の見学会&講演会を複数回開催してきましたが、企画妄想は膨らんだままコロナには勝てませんでした。

例えば・・・『みそら野キッチンのお弁当付きで、自前のガイドと共にスノーシューで森を歩く』なんて如何でしょうか？ 自前のガイドの中には狩人もいますので、動物についてのレクチャーを受けながらという楽しさもあるかと・・・

カクネ里の氷河探訪もみそら野別荘地所縁の地質学者吉田勝先生にお連れいただきましたが、この数年の間に、里(白馬村の生活域)から見える氷河として、唐松沢の雪渓も氷河と認定され、続いては白馬杓子沢等複数の雪渓が、氷河の可能性について専門調査着手とのこと。ジオパーク化への提言もされているようです。氷河探訪&講演会続編イベントが開催できるかもしれません・・・

みそら野キッチンからご挨拶とご案内

デリバリーの『みそら野キッチン』は、昨年8月プレオープン、冬に向け緩やかに本格スタートいたしました。冬を迎えた現在もいまだ絶賛手探り中!!! キッチンスタッフ一同、必死で研鑽中です。

皆様何卒ご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。ご意見やアドバイスを糧にして成長してまいりたいと思っておりますので、忌憚なきところをお聞かせください。まだまだであることを心しております。早々にご利用くださった方、リピーターとなってくださった方に、弊社そして何よりキッチンスタッフから、感動と感謝をお伝え申し上げます。

白馬綜合開発(株)が事業主であり、中小企業庁の事業再構築資金と長野県の補助金を受けての異業種参入となります。(異業種でないと補助金対象外🌀)当社は設立当初から定款の目的欄に飲食サービスを入れてあったため、この部分では、別荘地のサービスから逸脱したものでないことを確認できつつも、何せ飲食業素人集団としては、多くの方に助けていただきながらスタートを切ることになりました。この『多くの方』には少々拘りがありました。事業のスタートに当たっては、できるだけみそら野別荘地に縁ある方のお力を借りたいと考え、そこに拘りました。スタッフについては、みそら野別荘地限定ではないものの、地元で生活する者を生かしたいとの思いでスタートしています。食材に関しても、季節的に無理であったり品目的に地元産では賄えない物以外は、地元産信州産を使うことを旨としています。小谷村で無農薬野菜作りに挑戦し始めて数年になる女性もみそら野キッチンを支える一員になりたいといってください。建築・事業コンセプトからのプロモーション・メニュー作りのコンサルと指導・・・みそら野別荘地にご縁のある方のお力を徹底的にお借りした次第です。そしてここからは、みそら野別荘地を核として、この地でよき時間を過ごされる皆様方にご利用いただくことへ向けて・・・がんばります🌀

みそら野キッチンの概要

ご予約の上の夕食時デリバリーがメインとなりますが・・・

夕方以降、予約なしでも店頭でご購入いただけるメニューも始めました。基本形は、HPからオーダーしていただき、カード決済ができるような仕組みとしています。

ただし、ご別荘の方は管理事務所への電話注文、例えばお届けした際に現金でのお支払いもお取り扱いいたします。

メニューは、通年変わらないベースとなるもの、季節ごとのメニュー、時には瞬発的な随時メニューもあります。例としては、キッチンスタッフからのアイデアで『恵方巻とその後1Week 限定の海苔巻きフェア』を実施。グリーンシーズンや観光オフシーズンには、お手軽な日替わり弁当等も検討中。来年のお正月には、お節(もどき🌀)のリクエストもいただいています。

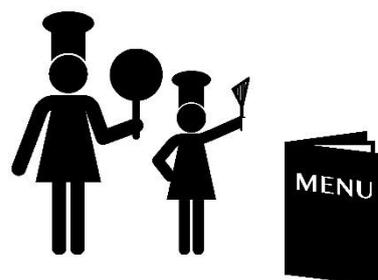
HP www.misoranokitchen.com

みそら野キッチンで検索してもOK! インスタもやっています。

みそら野キッチンからの お知らせ

Misorano Kitchen 冬メニューのパンフレットと別荘の方には限定の10パーセント引きクーポン券をあわせてお送りいたしますのでぜひご利用ください。

Webでカード決済お支払いの方には商品お渡し時にキャッシュバックいたします。



ご紹介

白馬に来た外国人のために『HAKUBA CONNECT』という英語のFree Paperの冊子が発行されています。Hakuba Valleyをメインとした、スキー場・アクティビティ全般・飲食店・スポーツショップ・宿泊施設・薬局・温泉・白馬だけでなく近郊の観光地まで含めた紹介・・・温泉の入り方まで・・・。みそら野キッチン of 広告を載せていただくために編集の方と打ち合わせを行い、数冊管理事務所にもいただきました。これがかかなりよくできていて、英語で書かれた本を読む習慣のない私でも、思わずページを捲り、苦手なはずの英文を読んでしまい、情報の厚みに感嘆しています。なるほど・・・これがあれば初めて白馬へ来たインバウンド観光客もレアな情報に触れて多角的に楽しめそうです。どこか外国のリゾート地に迷い込んだような楽しさを感じながらページを捲りました。10冊ほど予備があります。興味のある方は、管理事務所にお越しください。早い者勝ちとなりますがお渡しいたします。

伝言版

みそら野本箱(文庫)の構想は、超スモールステップで進行中。まだ山積みの本の方が多いという状況🌀『アルプ』は以前貸し不可とお伝えしましたが、なにせ今は読書スペースがないわけで・・・その『アルプ』はリスト作成が終わりましたので、ご身分証明をみせていただき、返却日をお約束したうえで貸し出しさせていただこうかと思えます。他の本は、概ねノートにお名前を書いていただくだけで貸し出しいたします。

事務所2階の仮想みそら野文庫より

新規オープン紹介

細野筋に三角屋根が三つ並んだ立派な建物が完成しました。白馬三山から着想とのこと。先にオープンしていた道向かいの『SANFERMO』の系列となります。細野筋沿いの△は完全予約制のレストラン棟(灼麓館)。ほかの二つの△△は、1組限定の宿泊棟(KANOLLEY Resorts HAKUBA)。オープン時に内覧させていただきましたが、ラグジュアリーであり繊細な気遣いもそこかしこに、感嘆のため息。コースのディナーもビジュアル・お味共に素晴らしいお料理と聞いております。

雑記帳

最近『寛容』ということについて考えることがよくあります。寛容さが足りないとか寛容でありたいとか、そう単純なことではなく、『寛容』とは一体どういう概念で、これは民族的歴史風土的なものなのか、人間由来の単純明快なことなのか・・・それとも形而上的な難解なことなのか。寛容の同義が我慢であってはならないし。

世界、国、社会、仕事、個々の人間同士・・・どうも腑に落ちない、何故なんだ??どうすればいいんだ??そんなことばかり。『正義』や『大義』も胡散臭い使われ方ばかりが目につくし・・・言葉の本来の意味を探る旅は目の前の多忙さに今日も頓挫。

気候が明らかに激しくなってきた昨今、自然とともに生活しているゆえに??穏やかな時期が短くなってきたことを実感します。とはいえ、積雪後の真っ白でキラキラ輝く雪景色と紺碧の空、芽吹きは何とも言えない柔らかな命の始まりの空気に満ちた春、北アルプスと一体化したきりっとした高原の夏、実りと色づきの彩の秋、この癒しと穏やかさがいつも～いつまでも満ちていますように。白馬へ来るとほっとします!!の場であり続けられますように。今年も春がすぐそこに♪(^_^)♪